

教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」

あ さ ひ こ
中 朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

令和5年1月10日(火) 第10号

著・編 校長 雑賀 裕 (TEL 66-2058)

<http://hatano-js.sado.ed.jp/>

E-mail hatano-js@sado.ed.jp

「2023年」は、どんな年!? (第3学期始業式 校長講話)

新しい年が明けました。今年もよろしくお祈りします。

今年の干支は卯(うさぎ)です。

卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれています。



私たち畑野中学校も、大きくジャンプアップの年に出来るよう頑張っていきたいと思います。

さて、2023年はどんな年だろうと思い、少し調べてみました。

スポーツ界では、3月に野球、7月に女子サッカー、9月にラグビーと、各種目で世界一を競う大会が予定されています。そういえば、前回の卯年(2011年)には、日本女子サッカー“なでしこジャパン”が世界一になり、大いに盛り上がったことを思い出します。

次に国の新しい政策として、『こども家庭庁』が4月1日に発足予定です。役割は、「こどもまんなか」社会をつくるための司令塔として期待されています。

主な取組は、「こどもや若者の意見をしっかりと聴く体制づくり」、「小さいこどもや児童生徒の居場所づくり」、「出産に伴う母親や小さいこどもの支援」、「児童虐待防止やヤングケアラー対策」、「障害のあるこどもの支援」などであり、社会全体でこどもや若者を支えていくための中心的な役割を果たすことが目的とされています。

私たちも、行政にお任せではなく、「人に優しい社会」・「安心安全な社会」のために、考えをもち行動することが大切だと思います。 <裏面に続く>

学校を取り巻く環境も、変化が始まります。号外:★地域拡大号★をご覧ください

令和5年度は、国や行政の取組として【部活動の地域移行】を段階的に進める年として位置づけられています。背景には、「少子化や過疎化の問題」、「部活動の目的が「自主的・主体的な態度の育成」から「勝利至上主義への置き換わり」、「教職員の過労死ラインを越える超過勤務の実態」等が、複雑に絡み合っていることによります。



これまでの、考え方・やり方では持続困難となってきました。学校・家庭・地域が一体となって、5年後10年後の未来につなげる新たな取組を進める必要があると考えます。

学校は、実施可能な小さな取組を積み重ねながら進めていくことを考えています。皆さんは、どうお考えになりますか…。

以上、年頭につき、2023年から始まる事柄について話をさせて頂きました。

いよいよ3学期が始まります。1年間の中でもっとも短い学期となりますが、前述のように、未来を考えることと同時に自らの立ち位置をしっかりと確認し、次へ進む土台としてください。

特に、3年生は規則正しい生活による体調管理と学習の充実が大切です。今は、このことが最優先です。頑張ってください。

まとめとなりますが、全校の皆さん、本年度の重点取組である、「自主的・主体的な態度」を具体的に実践し、互いの成長を確認し合える学期にしていきたいと思います。

皆さんのやる気と自覚に期待しています。

